

第5回開催レポート

# 「温海産のあつみ杉」

森林資源の利活用を学ぶ

# 赤かぶ大学 2020

十一月六日、第五回赤かぶ大学が開催された。この日、受講生十七名は温海町森林組合を訪れ、管理課長五十嵐雅樹氏より温海地域の森林資源の利活用を学び、「あつみ杉」を使った木工を体験した。

講話では日本における木材産業の現状と課題、持続可能な林業経営について説明を受けたのち、鶴岡市温海地域における「森林の現状」をはじめ「焼畑あつみかぶ栽培を活用した人工林の若返り資源の循環利用」について学んだ。受講生は森林組合で実施している様々な取り組みに感心した様子で、話に聞き入っていた。昼食後、あつみ杉の特徴を学び、マスクごしでも感じる杉の香りを楽しみながら木箱づくりを体験した。組み立てた木箱には焼き印（温海町森

林組合のロゴ）を入れ、完成した木箱に何を入れようかと心を躍らせていた。森林組合での木工体験を終了した一行は温海ふれあいセンターへ移動し、赤かぶ大学二〇二〇の閉講式に参加。閉講式では皆勤出席となった受講生へ修了証書が授与された。感想発表では、これまでの思い出を振り返るとともに来年度の開催を望む声が上がった。

①座学の様子

②工場見学の様子

③木工体験の様子

④木工体験の様子

⑤修了証書授与の様子

⑥感想発表の様子

